

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日本11月機械受注)

2019/1/16

りそなホールディングス 市場企画部



〇概況

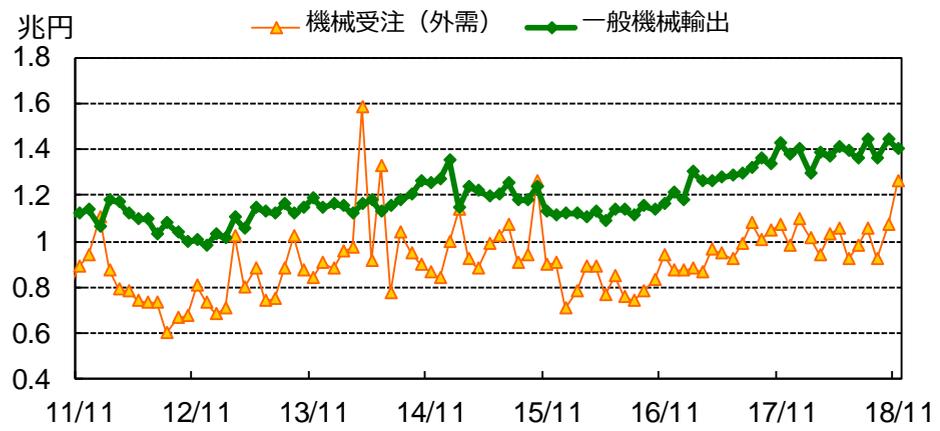
- ◆ 11月機械受注、船舶・電力を除く民需は前月比0.0%
- ◆ 10-12月期は前期比マイナスの可能性が高い
- ◆ 内閣府は受注判断を「持ち直しの動きに足踏みがみられる」と据え置き

- ✓ 11月の機械受注によると、船舶・電力を除く民間からの受注額（民需コア）は前月比+0.0%の8,631億円と、市場予想（+3.0%）を下回った(10月+7.6%の8,632億円)。
- ✓ 内閣府は受注判断を、「持ち直しの動きに足踏みがみられる」と据え置き。尚、9月時点の民需コア10-12月期の受注見通しでは+3.6%と増加が見込まれていたが、10、11月の推移から12月の大幅増がなければ前期比マイナス着地の見通し。
- ✓ 11月の受注総額は前月比+8.3%の2兆8,506億円(10月+19.5%の2兆6,317億円)。
- ✓ 製造業は▲6.4%の3,957億円(10月+12.3%の4,226億円)と減少。業種別では17業種中9業種が減少。非鉄金属、食品製造業、造船業などが減少。
- ✓ 非製造業（船舶・電力を除く）は+2.5%の4,650億円(10月+4.5%の4,537億円)と増加。非製造業全体の業種別では12業種中6業種が増加。不動産業、鉱業・採石業・砂利採取業、運輸業・郵便業などが増加。
- ✓ 官公需は▲26.8%の2,649億円(10月+25.0%の3,620億円)と減少。防衛省、その他官公需が減少。
- ✓ 外需は+18.5%の1兆2,649億円(10月+15.5%の1兆0,675億円)と増加。産業機械、電子・通信機械が増加。
- ✓ 代理店経由は▲4.0%の1,291億円(10月+7.8%の1,345億円)と減少。重電機、道路車両等が減少。

【機械受注（民需コア）とGDP名目設備投資】



【外需と一般機械輸出】



【出所】IN情報センター

◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。